

# 群会議の話題

東京土建一般労働組合  
港支部  
〒105-0014港区芝2 30 7  
TEL 03(3451)6673  
FAX 03(3451)6643

## 福田政権、高齢者医療制度に固執、社会保障財源口実に消費税増税の動き

福田政権は、5月13日道路特定財源を復活させ、今後10年間道路整備財源特例法改定案を衆院本会議で再議決を強行成立させました。衆院再議決の暴挙は、ガソリン税の暫定税率を復活させた歳入・税制関連法案(4月30日)に続くものです。福田内閣の支持率は、「K(後期高齢者医療制度への不満)・Y(山口2区補選)ショック」、ガソリン税暫定税率復活に対する批判で、弱体化した政権にさらに追い打ちかけました。

終盤国会最大の焦点である後期高齢者医療制度は、野党4党が「同制度を08年度限りで廃止し、元の老人保健制度に戻す。緊急措置として保険料の引き下げ、年金天引きの中止」を柱とする廃止法案を参議院に5月23日提出し、6月6日に参議院で可決し、衆議院に送付しました。これに対して政府与党は、「制度の根幹は動かさない」(舛添厚労相)として、年金天引きの見直し、低所得者の保険料の軽減、終末期相談支援料の凍結など小手先の「見直し」で済ませる考えです。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の人を「後期高齢者」と決めつけ、別枠の保険に囲い込み(リスク集中)全員から保険料徴収、保険料は2年ごとに見直され(自動的に値上げ)、医療内容も「適切な医療の確保」「医療費の適正化」「適切な医療の給付等」の名のもとに差別医療(健診、外来、入院「終末期」)を持ち込み、医療費抑制(2015年・2兆円、2025年・5兆円)を狙うものです。同制度そのものが欠陥法で、制度の廃止しか問題の解決にはなりません。

政府与党は5月22日、08年度の基礎年金の国庫負担割合を引き上げる国民年金法改正案、政管健保国庫補助特例法案など11法案の成立を見送り、継続審議として臨時国会に持ち越し、今国会は6月15日に会期末で閉会にする方針を決めました。

臨時国会は、通常秋に召集されますが、来年

1月に期限切れとなる新テロ特措法の延長をにらみ、8月下旬の方向が検討されています。

臨時国会で政府与党は、「なし崩し的に自衛隊の海外派兵の拡大は限界」として、憲法と国際貢献をめぐる議論を再燃させ、新テロ特措法延長と自衛隊海外派兵恒久法制定、社会保障費2,200億円圧縮の具体化、社会保障・年金財源を口実にした消費税増税への世論誘導、憲法審査会始動に向けた改憲団体の運動化、新憲法制定議員同盟体制強化(民主党幹部の参加)など、「戦争(軍事大国化)」と「貧困(構造改革)」に向けた動きを加速させる構えです。

09年予算編成をめくり、小泉構造改革で社会保障費を毎年2,200億円圧縮する方針(09年度は、雇用保険国庫負担全廃、介護保険自己負担引き上げを検討)に、「医療費の削減努力は限界に近い」(舛添厚労相)「骨太方針(抑制策)に命がけの勝負する」(尾辻自民参院会長)などの声があがり、さらに自民党社会保障制度調査会など三つの合同会議は27日、社会保障削減反対・圧縮撤回を決議するなど、与党と政府内部で矛盾が深まっています。同時に同会議は、「安定的な社会保障財源の確保に向けた検討」を強調、消費税増税に道筋をつける方向をにじませました。

福田政権は、「支持率低下の動揺が解散回避の一点で、かえって自民党の結束を促している」(毎日)と言われ、福田首相自身も「何があっても、解散も辞職もしない」姿勢で、公務員法改革で「指導力」発揮、洞爺湖サミット後の内閣改造、朝鮮政策など得意の「外交カード」などで、政権浮揚をはかる考えです。

私たちは、当面終盤国会で後期高齢者医療制度の廃止を求めて全力をあげるとともに、秋の大運動で建設産業の疲弊打開、立法改憲(自衛隊海外派兵恒久法)と消費税増税阻止、社会保障予算削減反対などを求め、解散総選挙に追い込むたたかいを準備していきます。

## 後期高齢者医療制度の中止・撤回闘争

75 才以上という年齢だけで高齢者を差別し、保険料引上げと医療水準引き下げを押付ける後期高齢者医療制度への批判と怒りは、依然として高まりを見せています。都道府県医師会の過

半数をこえる 30 以上の医師会が、制度そのものや「後期高齢者診療科」に批判的態度を表明し、労働

### 後期高齢者医療制度廃止法案のポイント

- ・来年4月に後期高齢者医療制度を廃止し、老人保険制度に戻す
- <10月までことる緊急措置>
- ・後期高齢者保険料の年金からの天引き中止
- ・保険料負担の軽減
- ・サラリーマンの被扶養者の保険料徴収の中止
- ・70～74歳の窓口負担2割の中止
- ・65～74歳の保険料(税)の年金天引き中止

運動においても、連合を含めて中止・撤回を求

めて運動を推進しています。

野党四党は5月23日、廃止法案を参議院に提出し、6月6日の本会議で廃止法案を可決し、衆議院に送付しました。

一方、政府は、6月13日の2回目の年金天引きを前にして、見直し案の検討を急ぎ、低所得者で保険料の7割軽減を受けている人について、今年度は軽減幅を85%に拡大する方針を固め、事態の沈静化に躍起となっています。

今後、廃止法案の衆議院での扱いや福田首相の問責決議を含め、廃止と見直しをめくり激しい攻防が繰り広げられることとなりますが、組合は、後期高齢者医療制度の中止・撤回に向けて、全力をあげて奮闘することにします。

## 当面の集会や宣伝行動、学習会にご協力ください！

「建設労働者のためのアスベスト医療シンポ」

[と き] 6月15日(日)午前10時50分開会、

[ところ] 全労済会館「スペースゼロ」

[参加要請] 芝分会・事務所分会から各3人

**港春闘共闘の主催による宣伝と署名行動**

世界に誇れる平和憲法を守り、改憲発議をさせないための宣伝・署名行動です。(雨天中止)

憲法東京共同センター・東京地評の取り組み

[と き] 6月25日(水)午後6時～6時40分、

[ところ] 大門交差点、

[参加] 各分会3人、

7月の宣伝と署名行動

[と き] 7月9日(金)午後6時～6時40分、

[ところ] 田町駅三田口コンコース、

[参加] 各分会3人、

### 横浜地裁提訴行動・支援集会への参加

[と き] 6月30日(月)午後2時支援集会開始、

[ところ] 横浜開港記念会館

[参加要請] 新橋分会・麻布分会から各3人

**全建総連7.11 予算要求・生活危機突破中央決起大会及び東京都連対都要請行動**

午前中の都庁での決起集会と要請行動、午後の日比谷野外音楽堂での集会とデモ行進と1日の行動となります。暑さ対策をお願いします。

[と き] 7月11日(金)

午前の部: 午前9時30分集合、10時開会、

[ところ] 東京都第二庁舎前、

午後の部: 正午開場・午後1時開会、

[ところ] 日比谷野外音楽堂、

[参加要請] 各分会8人の協力をお願いします。

## 賃金討議と賃金調査票の記入を

6月の分会・群の会議で、5月末賃金実態調査に取り組みます。全員配布の討議資料を活用して、組織的に「仕事とくらしの実態」を討議してください。各分会3割回収を目標に取り組みます。第一次集約は6月27日(最終集約日は7月24日)。

## 安全週間に向けた取り組み

毎年、7月1日から7月7日までを本週間、6月1日から6月30日までを準備期間に実施されます。昨年は東京土建で10人の仲間が労災事故で死亡しており、今年は死亡事故をなくす思いで安全週間に臨みます。現場の安全を訴えるポスター、ステッカーなどを事業所分会、事業所群に届けます。

**「納税者権利憲章の制定を求める請願書」署名の取り組みにご協力下さい**

取り組み期間 6月～8月、 取り組み枚数 組合員一人一枚(5名連記)

**7月14日(月) は書記研修のため事務所を閉めさせていただきます。**

## 75人の成果で、6分会が月間目標達成！

春の組合員拡大月間は、6分会で分会目標を達成し、75人の成果で、月間での拡大率は5.38%、年間拡大率は7.53%となりました。

月間目標達成分会は芝・麻布・白金・新橋・事業所・事務所の6分会で達成し、大島分会は目標2人に対し1人の成果にとどまりました。また、年間拡大目標の6%到達目標の達成分会は麻布・白金・事業所・事務所の4分会となり、支部目標達成の大きな牽引分会となりました。

春の拡大運動の特徴は、組合内事業所からの紹介による新規雇用での加入が続いたことが大きな特徴となります。また、永年の対象者の加入に始まり、改正建築基準法などにより頼りになる組合、優れた事業内容での加入など、全都で13万人を擁する組合に期待しての加入が続き、未加入者に期待され、未加入者に選ばれる組合に大きく発展してきていることが伺えます。

組合員拡大と同時にすすめられた主婦の会の

**どけん火災共済加入促進月間** 6月は、**どけん火災共済**の加入促進月間です。

日本一安い掛け金で、最高の保証となる火災共済を推進します。

統一行動日の実施 [第一次] 6月の分会会議の日、 [第二次] 6月25日(水)・26日(木)

群会議にむけ50口3000円のキャンペーンチラシを活用し、未加入群を克服する。

50口以上の新規加入者へのクオカードプレゼントを積極的に活用すること。

## 知って、知らせて、得する、組合員のお知らせコーナー

### 新組合員教室の開催

分会での声かけをお願いします。

[と き] 6月18日(水)午後7時00分開会、

[と ころ] 東京土建みなと会館、

[参 加] 4月～6月の新加入者が対象です。

### 大衆増税に反対する定例宣伝行動

(後期高齢者医療制度の宣伝も同時に実施します)

[と き] 6月24日(火)午後6時～、

[と ころ] JR新橋駅日比谷口SL前、

(他団体が使用している場合は烏森口に移動)

[参 加] 各分会5人

### 支部PAL会員交流会

[と き] 7月6日(日)午後3時開会、

[と ころ] 東京土建みなと会館3階会議室、

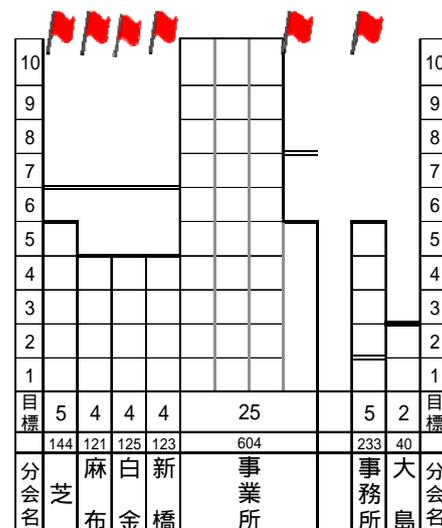
[参加要請] 支部PALの会員と会員希望者、

「すみやかな核兵器の廃絶のために署名」にご協力下さい

会員拡大運動も、11人の目標を見事に達成しました。

また、福寿会の会員拡大では、2月に実施した新年会や春の総会の際に新会員が増加し、春の会員拡大目標を達成しています。

青年組合員の青年部への登録運動では、青年組合員の交流会が、支部役員の奮闘と青年組合員の頑張りにより、青年部再結成の大きな運動に発展する萌芽が始まりました。



2008年6月			2008年7月			2008年8月		
1 日			1 火	中執	四役会議	1 金		
2 月	臨時登録 中執	四役会議	2 水			2 土		
3 火	主婦の会四役会議		3 木			3 日	龍宮城スパ三日月 交流会	カレッジ公開講座
4 水			4 金	常任執行委員会	被爆者の声うけつく映画祭	4 月		原水禁大会
5 木	常任執行委員会		5 土		大島・講習受付 被爆者の声うけつく映画祭	5 火	常任執行委員会	原水禁大会
6 金	執行委員会	大衆増税反対総決起集会	6 日	分会経験交流集会 支部PAL交流会	大島・講習受付 被爆者の声うけつく映画祭	6 水		原水禁大会
7 土			7 月	分会経験交流集会 執行委員会		7 木	執行委員会	
8 日	幹部学校		8 火			8 金	財政部	九の日宣伝行動
9 月	主婦の会役員会	九の日宣伝行動	9 水		九の日宣伝行動	9 土	青年部サマ-キャンプ	
10 火	財政部会	都議会開会日行動	10 木	財政部会		10 日	青年部サマ-キャンプ	前進座友の会・納涼会
11 水	国会行動(芝)		11 金	予算要求集会		11 月		
12 木		麻布 芝 事務所分執	12 土			12 火		
13 金		事業所群代表者会議	13 日	横須賀大集会	書記研修会	13 水		
14 土			14 月		書記研修会 麻布分執	14 木		
15 日	厚生文化活動者会議 教育宣伝活動者会議	区長選 新橋分会研修会 アスベスト医療シンポ	15 火	南部ブロック会議	平和共同取材	15 金		
16 月	厚生文化活動者会議 教育宣伝活動者会議	新橋分会研修会	16 水			16 土		
17 火	技術対策活動者会議	住宅デ-実行委員会 健康診断実行委員会	17 木			17 日		
18 水	新加入者説明会	会計監査	18 金		ピアガーデン	18 月		
19 木	教育宣伝部	麻布財政 法律相談	19 土	港養護学校夏まつり	大島・高所作業車 運転技能講習	19 火		
20 金		芝財政	20 日	都連大会	大島・高所作業車 運転技能講習	20 水		
21 土	アスベスト訴訟 訴状説明会		21 月			21 木		
22 日	第31回住宅デー		22 火		麻布財政	22 金	分会長書記長会議 共済審査委員会	
23 月	分会長書記長会議 共済審査委員会		23 水	分会長書記長会議 共済審査委員会		23 土		
24 火		各界連・社保協宣伝 各界連幹事会・税対部	24 木	シニア友の会活動者会 議	各界連宣伝	24 日		
25 水		九の日宣伝行動 石工部研修	25 金			25 月		
26 木	憲法署名推進決起集会	ボーリングの会	26 土			26 火		
27 金	組織部		27 日	中執	主婦の会しながわ水族館	27 水		書記局決起集会
28 土			28 月	中執		28 木		
29 日	青年部50周年式典	主婦の会ジャム作り	29 火		福寿会駒形どぜうの会	29 金		
30 月	組織機構検討委員会	横浜地裁提訴行動	30 水			30 土		
			31 木			31 日	中執	本部拡大出陣式
2008年6月			2008年7月			2008年8月		